

第7章 これから求められる 指導員の人材育成と展開

第7章 これから求められる指導員の人材育成と展開

第1節 求められる指導員の人材像

第3章第5節にて述べたとおり、人材開発政策の取組みにおいて指導員の果たすべき役割は大きく、その役割を担う指導員の育成がますます重要で急務である。

企業の人材ニーズ及び人材育成ニーズにおいてII型人材のニーズが高まっている。そのニーズに対応するためには、指導員においてもII型人材を育成することが求められる。しかし、上述のとおり第4次産業革命の進展に対応した職業訓練を効果的に実施するためには、1人の指導員がすべてを担うには限界があるため、複数の専門性を持った指導員が協力・連携することで求められる期待に応える必要がある。

これからの職業訓練の展開や人材育成に対応するため、今後求められる指導員として、以下のような人材が考えられる。

- ・ IT等デジタル技術を活用した課題解決、業務効率化ができる人材
- ・ 他の業務領域との協力・連携ができる複合領域を理解した人材
- ・ 情報セキュリティ、統計分析等のITリテラシーを理解した人材
- ・ VR、ARなどのICTを活用し職業訓練を展開できる人材
- ・ LMSなどのICTを活用し職業訓練の質を向上できる人材
- ・ 専門分野を超えたII型チームによる職業訓練の展開ができる人材

第2節 今後の展開

第1節で述べた、求められる指導員の人材像は、2018年度から実施されてきた第4次産業革命に係る調査研究において継続的に検討されてきた、指導員に必要な知識、技能・技術を包括するものであり、これまでの検討結果及び取組みは確かであったと考えられる。

今後、更に第4次産業革命が進展する生産現場に対して、指導員を育成し、職業訓練を展開していくため、指導員育成や組織のあり方として以下のように展開していくことを提案する。

2-1 指導員育成の展開

II型人材、II型チームとしてあらゆる課題に対応が必要なことから、指導員育成においても、異なる専門性を持った指導員によるPBLを活用した課題解決型の研修を実施することが有効であると考えられる。従来の特定の専門分野に絞った研修の展開だけでなく、企業が抱える課題により近い複数の技術要素を融合することで解

決に導くことができる研修を企画し展開していくことが必要と考える。

また、すべての指導員に対し、スピード感を持って取り組むため、従来の対面型の研修に加えて、Web を活用したオンラインでの研修等も充実を図る必要がある。

2-2 組織の展開

第 4 次産業革命に対応した職業訓練の展開を更に加速するためには、組織としてのスキル、インフラ整備そしてマインドセットが求められる。

まず、スキルについては指導員のスキルアップだけでなく、組織を運営するすべての職員が、第 4 次産業革命に対応した職業訓練をどのように推進していくのかを理解することが必要である。

これからの指導員は、技能・技術のコアに関する部分は言うに及ばず、生産を司るデータを支配するための AI やデータサイエンス、生産性向上に資する AR や VR 等、これまで以上に周辺技能や知識の充実が求められる。

そして、組織すべての職員が相互にサポートしていく体制が重要であると共に通常の業務にデジタル技術を取り入れ、新たな業務の進め方を生み出したり、発想の転換を目指したりするようなマインドセットが必要である。